



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2011-2012年度 国際ロータリーのテーマ

2011年

Reach Within to Embrace Humanity

R.I 会長 カルヤン・パネルジー



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 養田 隆 幹事 村田 勝俊

クラブ会報・広報委員会 木村 洋一・桑原 志郎・松島 宏明・大友 一之

2月6日号

第2804回例会 (1月30日(月)第2例会)

- | | | |
|------------------------|------------------------|------------------|
| 1. 点 鐘 | (2)バッチの贈呈 | |
| 2. ロータリーソング斉唱 | (3)歓迎の言葉 | 養田 隆 君 |
| 3. 来訪者紹介 | (4)新会員挨拶 | |
| 4. 新会員入会式 | 5. R-列-米山記念奨学会評議員感謝状授与 | 疋田 博之 君 |
| (株)たつきち 代表取締役 飯塚 莊一 君 | 6. 会長の時間 | |
| 後藤酒店 副代表 後藤 圭一 君 | 7. 幹事報告 | |
| (株)ビル・メン 代表取締役 高橋 弘史 君 | 8. 委員会報告 | |
| 朝倉染布(株) 代表取締役社長 朝倉剛太郎君 | 9. 卓 話 | |
| (1)推薦の言葉 | 「富弘美術館について」 | 富弘美術館 館長 聖生 清重 様 |
| | 桑原 志郎 君 | |
| | 山上 達也 君 | |
| | 大友 一之 君 | |
| | 川島 康雄 君 | |
| | 10. 点 鐘 | |

ようこそビジター

卓話者 富弘美術館 館長 聖生 清重 様 日本銀行前橋支店支店長竹澤秀樹君(前橋RC)
株式会社桐生再生 代表取締役 清水 宏康 様 米山奨学生 ミフタフル・フダ 君



R-列-米山記念奨学会 評議員感謝状 授与



後藤酒店
副代表
後藤 圭一 君

米山奨学生
ミフタフル・フダ君へ
奨学金授与



生年月日:昭和45年2月16日
出身大学:駒澤大学
趣味・特技:スキー・ゴルフ

新会員入会式



株式会社たつきち
代表取締役
飯塚 莊一 君

生年月日:昭和41年4月26日
出身大学:明治学院大学
趣味・特技:映画鑑賞



株式会社ビル・メン
代表取締役
高橋 弘史 君

生年月日:昭和46年9月21日
出身大学:東京デザイン専門学校
趣味・特技:ゴルフ



朝倉染布株式会社
代表取締役社長
朝倉 剛太郎 君

生年月日:昭和 45 年 10 月 26 日
出身大学:慶応義塾大学
趣味・特技:読書、ゴルフ、習字

会長の時間

先週から寒い日が続いておりますので、風邪など体調管理には、十分お気をつけ下さい。4名の新入会員が入会されましたが、すでに青年会議所等で執行部、理事長などで活躍していて大変有能な方々であり、強い見方を得た思いであります。活躍を期待しております。前橋RCの日本銀行前橋支店支店長竹澤秀樹君がメイクにお見えになっています。せっかくですので少しお話をさせていただきます。

(報告)

- ・1/16 例会終了後、定例理事会
JIC新年互例会 桐生市市民文化会館
- ・1/17 佐藤富三会員奥様告別式
- ・1/23 五十嵐啓友君 葬儀・告別式
地区大会 登録・接待部会 足田GE事務所

日本銀行前橋支店
支店長 竹澤秀樹君
(前橋RC)



幹事報告

- ・RID2840 足田ガバナーエレクトより、国際協議会開催地サンディエゴよりエアメールが届いております。
- ・国際ロータリーよりロータリーレートのご案内です。2月は、1\$ = 78円です。
- ・安藤ガバナー事務所より 5/6~5/9 にバンコクで開催されます国際ロータリー年次大会での「日本人親善朝食会」「JAPAN NIGHT PARTY」のご案内が届いております。
- ・群馬県立女子大学よりシンポジウムのご案内が届いております。
- ・桐生南、桐生西、桐生中央、桐生赤城の各RCより週報到着。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成 24 年 1 月 30 日)
総員 69 名:出席 48 名
平成 23 年 12 月 19 日例会修正出席率:84.48%

☺ ニコニコボックス

日本銀行前橋支店支店長(前橋RC)竹澤秀樹君...メイクアップで出席させて頂きました。よろしくお願致します / 山口正夫君...竹澤秀樹君(前橋RC)のメイクアップを歓迎して / 佐藤富三君...妻の通夜・告別式で大変お世話になりました。ありがとうございます / 澤田匡宏君...卓話に富弘美術館聖生清重館長をお迎えして / 牛腸章君、山口正夫君、川島康雄君、岸田信克君、本田雄一郎君、村田勝俊君、大友一之君、桑原志郎君、山上達也君、水越稔幸君...4名の優秀な新入会員をお迎えして / 久保田寿栄君...12/19 家族合同忘年クリスマス会でピンゴが当たりました / 足田博之君...誕生祝。

卓話



「富弘美術館について」

富弘美術館
館長 聖生 清重 様

開館以来20年。累計で610万人が来館した富弘美術館。1970年に群馬大学を卒業し中学校の教師になった星野氏が、事故で手足の自由を失った後、口で描いた感動的な詩画を展示しているみどり市立美術館です。本日は、多くの人々を感動させ、勇気付け続けている「富弘作品」と「星野富弘という人間の生き方」の源流をお話します。

9年3カ月に及んだ入院中、絶望の淵から這い上がり、花を中心とした水彩画に詩をのせた詩画作品を世に送り出すことで希望を見いだした。「多くを失った人には多くがあたえられる」という星野氏。「絶望」と「希望」を知っている星野氏の作品の代表的なものとしては「菜の花」、「花キリン」、「れんぎょう」などがあげられる。

故郷の東村(現・東町)での生活体験から生まれた作品も多い。時代は、戦後で貧しかったが、父母の愛に包まれ、野山を駆け回って育った。鳥や虫、花や木から多くのことを学んだ。現在、富弘美術館で開催中の特別展「思い出の向こう側から」で展示している「ねこじゃらし」、「ねぎぼうず」、「みょうが」はその代表作である。

星野氏は入院中の1974年、キリスト教の洗礼を受ける。星野氏との共著「銀色のあしあと」がある作家の三浦綾子さんは「信仰は土地、文学はその土から咲いた花木」と評されるが、星野氏の作品にも、信仰という土から咲いた作品がある。「ざくろ」、「小さな実・ぐみ」、「ひなげし」などがそれだ。

最後に、私が、大好きな詩を紹介したい。「神様がたった一度だけ この腕を動かして下さるとしたら 母の肩をたたかせてもらおう 風に揺れる ぺんぺん草の実を見ていたら そんな日が 本当に来るような気がした」(ぺんぺん草)。

【次回例会予告】

2月13日(月)卓話
群馬中央総合研究所
社長 三谷 徹男 様
食事 織姫 麦豚丼